

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、ICT活用で授業が変わる！

ICTは、学びを深める身近なツールとして活用できます

情報収集

授業内容についてインターネットで情報を収集することで、新しい情報を発見したり、情報の信憑性について考えたりするなど、学びを深めることができます。



クラウドサービスには様々な無料アプリが用意されています。

内蔵カメラ

パソコン内蔵のカメラで、QRコードを読み取り関連資料を表示させたり、実験の様子を撮影したりして、より詳細な考察ができるようになります。

プレゼンテーション

調べたことをスライドにまとめ多様な表現でプレゼンテーションすることができます。また、グループ内で対話をしながらスライドを同時編集することも可能です。

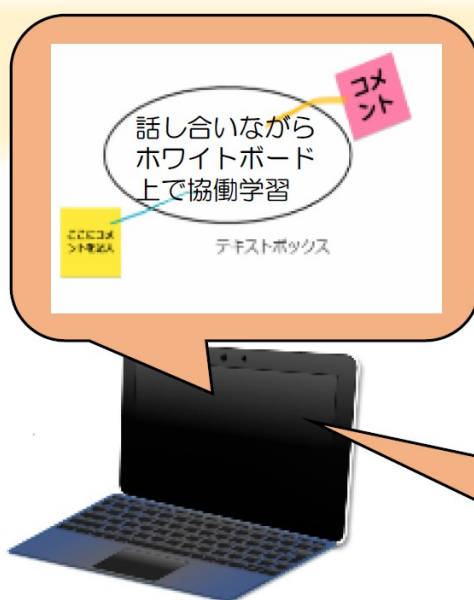


音声入力

マイクに向かって話すことで音声自動的に文字に変換されます。英語の発音チェックにも活用できます。

ディスカッション

ホワイトボードを使ってディスカッションをした経験があると思いますが、これがクラウド上でできるようになります。ホワイトボードを持ち運ぶ必要がなくなります。



情報モラル教育

GIGAスクール構想で用意されたクラウドサービスを利用するのでセキュリティが確保されています。また、技術の進展に伴い、継続的に情報モラル教育を実施していく必要があります。

学習課題・諸連絡

クラウドサービスを使って学習課題を提出することなどができます。また、生徒のみなさんへの連絡を学校、自宅等を問わず確認することができます。例えば、朝や帰りのSHRでの連絡などにも活用できます。



家庭学習支援

自宅からもクラウドサービスを利用できますので、学習課題に取り組んだり、授業の復習をするなどして、学習を継続することができます。

プログラミング

小中学校でプログラミング教育が行なわれていますが、高校では、必修科目である「情報Ⅰ」の学習内容にプログラミングが入っています。

```
[1] import numpy as np
from matplotlib import pyplot as plt

ys = 200 + np.random.randn(100)
x = [i for i in range(len(ys))]

plt.plot(x, ys, '-o')
plt.fill_between(x, ys, 185, where=(ys > 185), t
```